

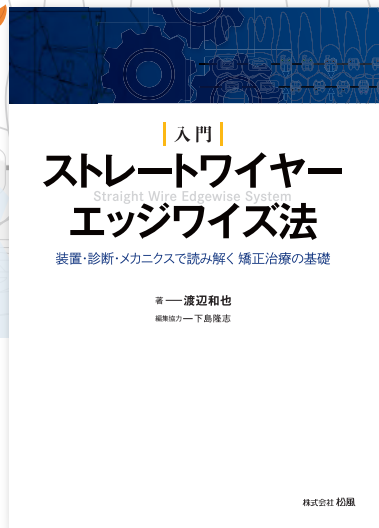
入門

ご好評のセミナー、待望の書籍化!

ストレートワイヤー Straight Wire Edgewise System エッジワイズ法

装置・診断・メカニクスで読み解く 矯正治療の基礎

著 渡辺和也 A4判・オールカラー・184ページ
編集協力 下島隆志 ISBN978-4-9901350-9-6



- 「セファロのトレースが難しい」「ワイヤーベンディングせずに並ぶのか」「動かしたくない歯も動いてしまう」

筆者がセミナー受講生からダイレクトに聞いた素朴な疑問に「矯正装置」「矯正診断」「治療メカニクス」の視点で整理。豊富なイラストを基にわかりやすく解説。

- 後半には、厳選された8症例について、規格化したレイアウトで紹介しています。
- ストレートワイヤーエッジワイズ法による矯正歯科臨床の入門書として、必読の一冊です。

CONTENTS

CHAPTER 01 矯正装置

- ◆ ストレートワイヤーエッジワイズ・システムの成り立ち
- ◆ ブラケットに組み込まれるべきデータ
- ◆ 実際の臨床で、どのブラケットを使用すればよいのか？ それはなぜだろうか？
- ◆ ストレートワイヤーエッジワイズ・システムで歯列を整えることの臨床的意義
- ◆ ブラケットの効率的な活用
- ◆ ストレートワイヤーエッジワイズ・システムにおけるブラケットプレースメント

症例

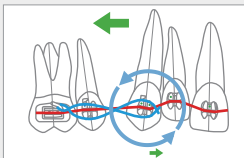
- | | |
|-----------------|------------------------|
| Case 1 I級 叢生 | Case 5 II級 上顎前突(下顎後退型) |
| Case 2 I級 上下顎前突 | Case 6 II級 過蓋咬合 |
| Case 3 II級 叢生 | Case 7 II級 開咬 |
| Case 4 II級 上顎前突 | Case 8 III級 反対咬合 |

CHAPTER 02 矯正診断

- ◆ 治療前に考えるべき5つのこと
- ◆ 患者と術者のゴールの一致が重要
- ◆ ゴールセッティング時に、スタート地点である現状の把握が重要
- ◆ 軟組織を対象とした計測項目
- ◆ Conventional Orthodontic Analysis(WOO 2021 Lateral version)
- ◆ Arnett Soft Tissue Analysis 選抜14項目

CHAPTER 03 治療メカニクス

- ◆ 「レベリング」と「スペース管理」のコツ
- ◆ 咬み合わせのチェックポイント
- ◆ ダイレクトボンディングとインダイレクトボンディング(IDBS)
- ◆ ブラケットの基本的な位置付け[Hands on]



レベリング時におけるレースバックの意義を解説



Quick IDBSの製作方法と使い方を写真付きで詳しく解説



ご注文はFAXにてお願い申し上げます。

FAX送信先：株式会社 松風 矯正課 03-3832-7682

●ご注文書籍

入門 ストレートワイヤーエッジワイズ法

冊

お客様名	ご担当者様	通信欄
ご住所	TEL - -	
〒	FAX - -	



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

矯正に関するお問合せ先
営業部 矯正課

〒113-0034 東京都文京区湯島3-16-2 松風 EST ビル
Tel.03-3832-1824 Fax.03-3832-7682
www.shofu.co.jp